

在宅型家庭教育学級とは

在宅型の家庭教育学級とは、期間を指定して設定されたテーマ(学習課題)に各家庭で取り組んでもらうタイプの家庭教育学級です。より多くの保護者の参加が期待できますし、講師の日程調整等がないので担当者の負担軽減にもなります。

<在宅型と講座型>

在宅型家庭教育学級	講座型家庭教育学級
1 学習課題と記録用紙を準備	1 講座内容と講師を選び依頼
2 保護者に取組を依頼	2 保護者から参加者を募集
3 各家庭で取り組んでもらう	3 学校や講師との事前の連絡調整
4 記録用紙の回収やアンケート実施	4 当日の講座の運営

特徴1 学校や学年全体でテーマを設定して取り組みます

・親子のふれあいづくりのきっかけとなるようなテーマが取り組みやすいでしょう。

例)ふれあいハグ週間(ハグでなくても、ハイタッチや言葉かけでもよい)、家族会議を開こう、一緒に取り組む親子の約束、など

・家庭教育の中で「家族の大切さ」を感じとり、親子がともに「終わっても続けたいな」と思えるようなものを企画しましょう。

特徴2 各家庭の都合に合わせて取り組んでもらいます

・夏休みなど期限を長めに設定し、その中で一週間程度取り組んでもらいましょう。

特徴3 取組は任意とします

・取組後に記録用紙を提出してもらうか、アンケートで参加状況を把握します。

・強制ではなく、任意にして、特に子どもの意見は大事にしましょう。

・全校一斉ではなく、低学年だけ、高学年だけとかにしてもいいでしょう。

特徴4 取組結果を公表することで意識が高まります

・取組後に感想(よいものを選ぶ)を示すことで、一層意識が高まります。

・「楽しかった」という感想は担当者の成就感(「やってよかった!」)につながるでしょう。

1 まず、平成6年度に取り組んでいただいた学校のように紹介します！

①～④は、後のページに案内や記録用紙の見本があります。

①【ふれあいハグ週間】（記録用紙の見本あります）

親子の触れ合いを増やし、家族の大切さを感じてほしいという願いで呼びかけました。ほとんどの家庭が取り組んでくれました。前向きな意見が多く、委員の感想の中でもやってよかったとの意見が多かった講座でした。（6/1～6/14 対象：小学校1年生、2年生、特別支援学級）

それぞれの家庭で取り組めるものだったので、全校生徒の約半数が参加してくれました。親側からは大変好評でしたが、こども側からは 嫌だった という意見もありました。ハグ以外のふれあいもしてもらえるように タイトルを変更して行えばよかったかなと思いました。（6/24～7/4 小学校）

学校側に協力して頂き夏休みの宿題の1つとして多くの児童に参加してもらったのと、在宅型にした事で役員の仕事の負担軽減になりました（夏休み 小学校）

子どもは親が想像している以上にスキンシップを求めている喜びや嬉しかった等の感想が多かった。親も子どもの感想を読み、我が子の些細な変化に気付くことができたようです。取り組み家庭数が少なかったのが課題。（7/20～8/25 小学校）

回収率は70.3%でした。全体的にどのご家庭でも楽しんで取り組んでいたようでした。（7/20～8/31 小学校）

普段からスキンシップを大事にしている家庭がたくさんあり、前回よりも参加の人数は多かったです。感想は「ハグをすると安心する」「ただただ癒された」「大きくなってもふれあっていたい」「これからも出来る限り続けたい」などふれあう時間を作ったことで、家族の大切さを体感してもらえたかなと思います。（冬休み 小学校）

もともとこの企画がなくてもハグをしていますという家庭が多く、普段から親子でコミュニケーションをとっている様子が伝わりました。ただ、今回の企画であらためてハグについて考えて実行したという意見も多く、やって良かったと思えました。想定していたよりも多くの3割の家庭に参加してもらえたのも嬉しく感じました。「大好きなママがもっと大好きになりました」などの感想もありました。（冬休み 小学校）

沢山のご家庭で取り組んで頂けました。面白い企画だった！これを機会にこれからも意識して続けていきたいなどの前向きな感想が多い中、保護者側がハグは苦手やこのような企画は勘弁願いたいとの声も少数ながらありました。（冬休み 中学校）

②【親子ふれあいチャレンジ】（「ふれあいハグ週間」のタイトルを変更）

夏休み期間中にハグだけでなく、肩組み、ハイタッチ、握手、あたたかい言葉かけなどによって、親子でふれあう時間をつくることを呼びかけた。初めての在宅型でしたが、ハードルが低く、多くの人が取り組みやすかった。（夏休み 中学校）

③【家族 de 防災会議】（記録用紙の見本あります）

防災への備えとしてアンケートをしてもらいました。家庭で話し合いながら防災への備えを話し合う事で家族でふれあいを目的としました。自分の家を今一度確認できることができたと思います。多くの家庭が取り組み、再度防災への備えを考えることができたと思います。（冬休み 中学校）

家族で話す機会がいままでなかったので、よかった。たくさんの参加があったので、まとめて家庭に配布した。（8/23～9/13 中学校）

④【話そう！語ろう！我が家の約束】（記録用紙の見本あります）

参加率が50%と、例年と比較して高く、親子でコミュニケーションがしっかり取れている様子が分かりほっとした。また、約束として実施したことを今後も続けていきたいとの意見が多くみられ、有意義な講座となった。（夏休み 中学校）

⑤【やってみよう！はじめてみよう！家族の絆を深めよう！】（④のタイトルを変更）

お子様のやりたい事、保護者のやりたい事を各家庭で掲げて取り組んでもらいました。実施後、それぞれの立場から評価して感想も書いて頂きました。これからも習慣にしたい、絆が深まった、やってみると楽しかった、等の感想がありました。（7月末～8月に5日程度 中学校）

⑥【夏休みに給食メニューを作ってみよう】（記録用紙の見本あります）

給食の内容や栄養に関することに興味や関心を持ち、また家族での会話やふれあいを増やすことをねらいとし、夏休みに給食メニューを各家庭で作ってもらいました。栄養士さんから教えていただいたレシピと、栄養に関する豆知識を各家庭に配布し、実施後の感想や意見を集めて共有してもらいました。たくさんの方に参加してもらうことができ、子どもと一緒に料理をする機会になった、美味しかった、栄養の大切さがわかった、もっと作ってみたい、などの感想があり、ねらい通りの講座ができたと感じています。（7/20～8/31 小学校）

⑦【親子みんなで読み聞かせ】

頂いた感想には、「子どもに読んでもらい、子どもの成長を知ることができた」「読み聞かせをあまりやらなくなっていたので親子でふれあういい機会になった」「小さい頃に読んでいた懐かしい本を見つけて読んだりした」など、みなさん家族で楽しい時間が過ごせました。（夏休み 小学校）

⑧【睡眠の質を高めよう！～ミッションシートチャレンジ～】（地域保健課資料）

夏休み期間の為、多くの家庭が参加してくれました。実施した感想も前向きのものが多かった。親子で参加した為、親 子供 両方とも睡眠に対しての見直しができた。（夏休み 小学校5年生、6年生）

※講演型の場合、参加者は役員のみ、というケースもあります。参加者が3割でもすばらしい。回収率70%なんて奇跡です！でも、この活動が定着したらもっと上がるかも…。

※「ハグ」については、学年が上がると抵抗を覚える子もいるようです。子どもが自分で選択できるように記録用紙の見本を改めましたが、タイトルを変更してもいいでしょう。

2 在宅型家庭教育学級の進め方

学習課題の設定

これやったら楽しそう！

学習課題と記録用紙を準備します

- ・この後のページに見本があります。学校名等を手書きで書き込んで使用できます。
- ・市役所ホームページ内「家庭教育学級」にデータ(ワード、PDF)をアップします。ダウンロードしてご利用ください。
- ・パソコンがない場合は、社会教育課まで連絡いただければ加工を承ります。(無料です)
- ・学校側の窓口となる先生を確認し(教頭先生や教務主任の先生が多いかと思います)、あらかじめ、協力を依頼しておくとその後のやり取りがスムーズになるでしょう。

保護者に周知

保護者会や文書でお知らせ

保護者に取組を依頼します。

- ・依頼文書を印刷配布するか、リーバーでの配信を依頼します。
- ・記録用紙については、紙で配ることで、保護者への周知徹底と意欲喚起ができます。
- ・配布や配信の依頼方法を学校に確認しておきましょう。

家庭で取り組み

各家庭にお任せします

先行実施自治体の取組を見ると、継続して取り組むことで参加率も上がっています。

- ・夏休み、冬休みなど長期休業中が取り組みやすいようです。

まとめ

楽しさが伝わる感想を紹介

記録用紙を提出してもらうか、アンケートをとって実施状況を把握します。

- ・参加者数を確認してください。後日、事業報告をしていただきます。
- ・実施後の感想から何点か選んで保護者に紹介すると、より意識が高まるでしょう。
- ・アンケートを QR コード(グーグルフォームなど)で行うと回収の手間が減ります。
(グーグルフォームでのアンケート作成は、連絡いただければお手伝いします)

3 課題例を紹介します

昨年度に初めてご紹介した取組でしたが、オリジナルの課題に取り組んだ学校もありました。自由に発想してみましょう！

(1)ふれあいハグ週間

願い 親子でハグをしたり、あたたかい言葉をかけ合ったりして、親子の触れ合いをふやし、家族の大切さを体感してほしい。

内容 1週間程度、ハグだけでなく、肩組み、ハイタッチ、握手、あたたかい言葉かけなどによって、親子でふれあう時間をつくる。

<担当より>

個人的には「いるま子育てハグのまち」となるくらい、みんなに取り組んでもらいたい課題です。特に小学校低学年におススメ。高学年や中学生になるとハグが苦手な子もいるようなので、タイトルを「親子ふれあい週間」などとした学校もありました。

(2)話そう！語ろう！わが家の約束(家族の絆づくり)

願い 約束をきっかけに会話が生まれ、目標をもって過ごすことで、家族として互いに認め合い、家族の絆を深めてほしい。

内容 子ども、保護者がそれぞれ自分の約束を決めて1週間取り組み、自己評価後、相手にも評価してもらい、互いにメッセージを送る。

<担当より>

子どもに「やりなさい」ではなく、「一緒にやってみようよ」と呼びかける課題です。最後に相互評価をします。子どもがおとなを評価することは少ないので、子どもにも楽しめると思います。約束も楽しめるものを考えて、声をかけあってほしいですね。

(3)家族 de 防災会議(災害への備え)

願い 自宅での防災に向けて話し合うことで、命の尊さにふれ、防災意識を高めながら、「家族の楽しいひと時」にもしてほしい。

内容 記入用シートをもとに災害への備えについて家族で話し合う。

<担当より>

災害への備えは現実的な課題ですが、つい後回しにしている家庭もあると思います。家庭教育学級を、防災についてみんなで考える機会にしてみてもどうでしょうか。家具の配置や備蓄品は大丈夫ですか。

(4)家族会議を開こう

願い 子どもの声を大事にしながら家族がそれぞれの立場で意見を交わすことで、
願いを伝えあい、互いの成長を感じあってほしい。

内容 月に1回10分程度から。予定、目標、やりたいこと、してほしいこと等の議
題を設定する。叱る場ではなく、思いを引き出し、対等に話す場。

<担当より>

小学校低学年からが始めやすいようです。子どもが「べつに」と言い出したら何かた
まっているのでしょう。近況の報告だけでも親子の理解が進みます。担当としては自分
の子育てを振り返って、これをやってたら違ったのかな、という思いもあります。

(5)夏休みに給食メニューを作ってみよう！

願い 給食の内容や栄養に関することに興味や関心を持ち、また料理を通して家
族での会話やふれあいを増やしてほしい。

内容 栄養士さんから教えていただいたレシピと、栄養に関する豆知識を各家庭に
配布し、夏休みに給食メニューを各家庭で作ってもらう。

<担当より>

金子小学校のオリジナル課題です。栄養士さんとの連携で子どもができそうなメニ
ューのレシピをいくつか添えて呼びかけたものです。皆さんも自分たちで取り組んで
みたい課題を考えてみてはいかがでしょうか。

※次ページ以降に、依頼文書や記録用紙の例がありますので、保護者に周知依頼する際
の参考にしてください。

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「 」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

取組は任意ではありますが、親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組みますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

1 学習課題

2 願い

3 内容

4 実施方法

①話し合って期間を決めます。

②学校から配られる記入用シートに記録します。

③実践後のアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「ふれあいハグ週間」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

取組は任意ではありますが、親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組みますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

- 1 学習課題 ふれあいハグ週間
- 2 願い 親子でハグをしたり、あたたかい言葉をかけ合ったりして、親子の触れ合いをふやし、家族の大切さを体感してほしい。
- 3 内容 ハグでなくてもかまいません。1 週間程度、肩組み、ハイタッチ、握手、あたたかい言葉かけなどによって、親子でふれあう時間をつくりましょう。
- 4 実施方法
 - ①話し合って期間を決めます。
 - ②学校から配られる記入用シートに記録します。
 - ③実践後のアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上

一日一回以上ふれあおう！

まいにち いっかいおやこ はぐ
○毎日、一回親子でハグをしてみよう。

はぐ かたく はいたっち あくしゅ
○ハグでなくて、肩組み、ハイタッチ、握手などでもいいよ。

○「いってきます」「がんばったね」「ありがとう」「おやすみ」「すきだよ」
など、ことばのやりとりでもいいよ。

えら おやこ ふあ
○どれか選んでね。親子でどんどん触れ合おう。

はぐ こうか ハグの効果

はぐ ふれあう ひと なか おきしとしん ほるもん
ハグなどで触れ合うと、その人の中にオキシトシンというホルモンがでるんだ
よ。これは、あいじょうほるもん よ おやこ あいじょう ひと しんらい かんじょう
よ、これは、「愛情ホルモン」とも呼ばれ、親子の愛情や人との信頼などの感情
をよ お 呼び起こすんだ。それに、ふくこうかんしんけい かつせいか りらくくす ころ あんてい
せ、ストレスを減らす働きがあるんだよ。

保護者の方へ 是非、この機会にお子様とのふれあいを増やして、恥ずかしがらずにた
っぷりと愛情を注いであげてください！

実施日を1週間設定して、できた日に○をしましょう

/	/	/	/	/	/	/

感想を絵や文で
かきましょう。

お子さま

おうちの方

参加いただいた方は、人数把握のため、アンケートにご協力ください。

アンケート用

QR コード

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「話そう！語ろう！我が家の約束」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

取組は任意ではありますが、親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組みますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

- 1 学習課題 話そう！語ろう！わが家の約束(家族の絆づくり)
- 2 願い 約束をきっかけに会話が生まれ、目標をもって過ごすことで、家族として互いに認め合い、家族の絆を深めてほしい。
- 3 内容 子ども、保護者がそれぞれ自分の約束を決めて 1 週間取り組み、自己評価後、相手にも評価してもらい、互いにメッセージを送る。
- 4 実施方法 ①話し合って期間を決めます。
②学校から配られる記入用シートに記録します。
③実践後にアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上

入間市立_____学校 PTA
在宅型家庭教育学級
「話そう！語ろう！
我が家の約束」

このシートを目立つところに貼ってね

都合の良いときに1週間取り組みましょう。

＜おこさまの約束＞

＜保護者の約束＞

どのくらいできたかな

自分から見て



自分から見て



保護者から見て



お子さまから見て



＜子どもから家族へのメッセージ＞

＜保護者から子どもへのメッセージ＞

約束は親子で同一でも別々でも OK。親子で話し合い、一緒に取り組むことが目的です。

＜子どもの例＞ 家族に挨拶する、必ず「ありがとう」という、お手伝いする、家事を覚える、一緒に運動する、自分で起きる、家族と話をする、など。

＜保護者の例＞ 1日1回ほめる、「はやく～しなさい」と言わない、毎日運動する、怒らないで話を聞く、自分も勉強する、スキンシップ、など。

参加いただいた方は、人数把握のため、アンケートにご協力ください。

アンケート用

QRコード

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「家族 de 防災会議」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

取組は任意ではありますが、親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組みますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

- 1 学習課題 家族 de 防災会議(災害への備え)
- 2 願い 自宅での防災に向けて話し合うことで、命の尊さにふれ、防災意識を高めながら、「家族の楽しいひと時」にもしてほしい。
- 3 内容 記入用シートをもとに災害への備えについて家族で話し合しましょう。
参考:「災害が起きる前にできること」
首相官邸>メニュー>政策>防災の手引き>災害が起きる前にできること
- 4 実施方法 ①話し合って、学校から配られる記入用シートに記録します。
②実践後に感想を絵や文で記入します。
③実践後にアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上

家族 de 防災会議 記入シート

「首相官邸」サイト内の「災害が起きる前にできること」などを参考に、防災のための備えについて家族で話し合ってみましょう。

(1) 家具の置き方、工夫してますか？

- ・固定が必要な家具
- ・家具の向きや配置

(2) 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

- ・飲料水、非常食 ※最低3日分（できれば1週間）
- ・生活必需品 ※断水時のトイレ対策も
- ・非常持ち出し袋

(3) 家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

- ・災害用伝言ダイヤル、災害用伝言版

(4) 避難場所や避難経路、確認していますか？

- ・ハザードマップでの我が家の位置
- ・避難場所、避難経路

(5) 役割分担をしましょう

必要な役割

担当

参加いただいた方は、人数把握のため、アンケートにご協力ください。

アンケート用

QR コード

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「家族会議を開こう」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

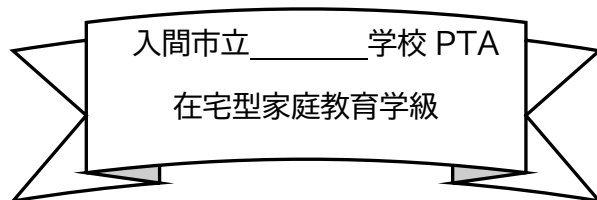
親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組みますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

- 1 学習課題 家族会議を開こう(家族の課題解決、相互理解)
- 2 願い 子どもの声を大事にしながら家族がそれぞれの立場で意見を交わすことで、願いを伝えあい、互いの成長を感じあってほしい。
- 3 内容 月に1回10分程度から。予定、目標、やりたいこと、してほしいこと等の議題を設定する。
- 4 実施方法 ①話し合って会議の予定を決めます。
②議事録に記録します。
③実践後のアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上



家族会議とは

「家族会議」は、旧ツイッターに投稿されたある家族の議事録が「泣ける」「おもしろい！」と話題になったことで広まり、今では様々な実践が公開されています。（投稿はすでに終了）

家族会議のメリットとしては、よく次のようなことがあげられています。

- ・家族みんなの意見や希望を全員で共有できる（回を重ねると子どもの本音が聞ける）
- ・各自の悩みや問題についてみんなで話し合える（話し合って解決する力がつく）
- ・家族が今よりさらに仲良くなれる。

会議のやり方は自由、まずは定例会議から

家族会議のやり方に決まりはありません。あえて言うなら、会議では何を言っても誰も怒らない、言いたいことは最後まで聞く、といったことでしょうか。子どもが幼いうちは、短い時間で充分です。週末や月末に夕食後 10 分などと約束しておきましょう。

話し合いのテーマには、次のようなものも考えられます。

- ・よかったこと、うれしかったこと、できたこと
 - ・いやだったこと、つまらなかったこと
 - ・こんどいきたいところ、ほしいもの、したいこと
 - ・かぞくのだれかにやってほしいこと
- また、問題があったときには「緊急会議」として議題についてのみ話し合います。

議事録について

議事録は自作してもいいですし、「家族会議」で検索しても見つかります。前述の投稿された議事録は、子どもが紙に手書きしたものでした。

議事録に残すポイントは次のとおりです。

日時・議長 議長はおとながなります。仕事はおもに時間の管理です。

書記 子どもに会議の進行と記録をまかせます。

先月の報告 家族それぞれがたてた先月の目標とその達成度を報告します。

今月の目標 それぞれが今月の目標を立てます。

議題 その日話し合う議題を決めます。

まとめ 決まったことやわかったことをまとめてかきます。

議事録をひもで綴ったりすると、家族の成長の歴史がいつでも見られますよ。

参加いただいた方は、人数把握のため、アンケートにご協力ください。

アンケート用

QR コード

令和 年 月 日

保護者 様

学 校 長

学校PTA会長

在宅型家庭教育学級「夏休みに給食メニューを作ってみよう！」のご案内

保護者の皆様には、日頃より PTA 活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

各家庭で取り組んでいただける在宅型の家庭教育学級のご案内です。

取組は任意ではありますが、親子の会話やふれあいを増やして、より一層家族の絆を深めてみませんか。お忙しい中とは思いますが、お子様の健やかな成長を願って、多くの皆様の参加をお願いします。

下記のように取り組めますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

記

- 1 学習課題 夏休みに給食メニューを作ってみよう！
- 2 願い 給食の内容や栄養に関することに興味や関心を持ち、また料理を通して家族での会話やふれあいを増やしてほしい。
- 3 内容 栄養士さんから教えていただいたレシピと、栄養に関する豆知識を各家庭に配布し、夏休みに給食メニューを各家庭で作ってもらう。
- 4 実施方法
 - ①話し合って期間を決めます。
 - ②学校から配られる記入用シートに記録します。
 - ③実践後のアンケートにご協力ください。参加者数の把握とともに、後日、感想等を皆様と共有させていただきたいと思います。

以上

夏休みに給食メニューを作ってみよう！

レシピを参考に、夏休みに自宅で給食メニューを作ってみましょう。お子様と一緒に、またはお子様ができそうなメニューに挑戦して保護者の方が食べるのもOKです。実践したものを記録しておきましょう。

作った日

月

日

作ったメニュー

作った人

食べた人

料理の絵を描いておこう

お子さまからひと言

保護者の方からひと言

参加いただいた方は、人数把握のため、アンケートにご協力ください。

アンケート用

QRコード

参考 グーグルフォームによるアンケート作成と集計について

グーグルフォームは、Google が提供するサービスで、アンケートや参加者の募集などが無料で利用できます。特にアンケートは自動集計なので手間がかかりません。そのため、全国様々なPTAがグーグルフォームを使用しています。また、その使い方について、図入りで解説しているPTAもあるので、それらも参考にしてください。

<大まかな流れ>

- 1 グーグルのアカウント作成
- 2 グーグルフォームでアンケート作成
- 3 公開用 QR コードの作成
- 4 コードをつけて文書(記入用シート等)を保護者に配布
- 5 集計結果を確認、主な感想を保護者に紹介

1 Google のアカウントを作成

・スマホの場合は、アプリ「グーグルクローム」が必要です。無料でできますが、すでにあるアカウントを使用する場合は、アカウントの所有者に必ず確認をとってください。

2 グーグルフォームでアンケート作成

- (1)「グーグルフォーム」で検索します。
- (2)登録したメールアドレスとパスワードでログインします。
- (3)「新しいフォームを作成」をクリックして始めます。
- (4)フォームのタイトルを入力します

・例 「〇〇小学校 PTA ふれあい週間アンケート」

(5)質問項目を設定します。

・ここでは、①所属学年、②評価、③感想、④お子さまの様子、の4点について質問してみます。

- ① 「無題の質問」の欄に「お子様は何年生ですか」と入力。質問の下の▼から「チェックボックス」を選択。□1年生 と入力したら、下の「□選択肢を追加」をクリックして、□2年生、□3年生、□4年生、□5年生、□6年生と入力。下の「必須」ボタンをクリックして有効にします。（「チェックボックス」は当てはまるものを全て選択してもらう機能です）

② 記号 ⊕ をクリックして質問を追加。「やってみてどうでしたか」と入力。質問の下 ▼ から「プルダウン」を選択。選択肢1に「よかった」と入力。続けて、「選択肢を追加」をクリックして、「まあまあよかった」「あまりよくなかった」「よくなかった」と入力。下の「必須」ボタンをクリックして有効にします。（「プルダウン」は回答を一つだけ選択してもらう機能です）

③ 記号 ⊕ をクリックして質問を追加。「感想をお願いします」と入力。質問の下 ▼ から「段落」を選択。（「段落」は文章を記入する機能です）

④ 記号 ⊕ をクリックして質問を追加。「お子様はどうでしたか」と入力。質問の下 ▼ から「段落」を選択。以上で、アンケートが設定できました。

※パソコンは ㊟ (プレビュー) から、スマホは上の ⋮ をクリックして「プレビュー」を選択すると、アンケートのプレビューが見えます。

※グーグルフォームは、入力するたびに保存されます。操作によってはいきなり新規画面になることもありますが、左上の「フォームのホーム」をクリックすると元の画面が見つかります。。

3 公開用 QR コードの作成

(1)コードを読み込むと回答できる設定にします。

①パソコンでは右上の「公開」を、スマホでは上の▷(公開)をクリック。

②「回答者」の「管理」をクリックして、回答者ビューを「リンクを知っている全員」に、「回答を受付中」を有効にします。（「メールアドレスを収集する」はオフにします）

(2)QRコードを作成します。

①上のメニューにある (-) をクリックします。リンクをコピーしますか、と出るので「コピー」をクリックします。

③グーグルクロームを立ち上げて、検索欄にコピーした URL をペーストします。

④グーグルクロームの記号 … をクリックして、メニュー内の「Chrome を共有」をクリック。さらに、メニュー内の「QR コードを作成」をクリック。QR コードができるので、写真やファイルなどに保存します。

4 記入用シートにコードをつけて保護者に配布

・アンケートの回答期限を設けておくと、集計の時期を決めやすいです。

5 集計結果を確認、主な感想を保護者に紹介

・参加者数、評価の状況をまとめ、感想の中から印象的なものを紹介しましょう。